

R工業（株）は、1種類の製品のみを見込み生産して販売している。平成X年における次の製造・原価・販売データにもとづき、各設問に答えなさい。ただし、製造工程が短いために、期首も期末も仕掛品はなかった。

<製造・原価・販売データ>

1. 期末製品棚卸数量 0個
2. 当期製品製造数量 9000個
3. 期末製品棚卸数量 1000個
4. 当期製品販売数量 8000個
5. 実際製造原価
変動費（1個あたり）¥300
固定費（年 間）¥1,800,000
6. 販売費
変動費（1個あたり）¥100
固定費（年 間）¥300,000
7. 一般管理費
（すべて固定費で年間）¥500,000
8. 製品の販売価格は、年間を通じて¥800であった。

(設問 1)全部原価計算方式により、以下の金額の計算式と答を示し、損益計算書を作成しなさい。

(1)売上高 = $8,000 \times 800 = 6,400,000$

(2)売上原価

$$= 8,000 \times 300 + 1,800,000 \times \frac{8,000}{9,000} = 4,000,000$$

(3)売上総利益

$$= (1) - (2) = 6,400,000 - 4,000,000 = 2,400,000$$

(4)販売費および一般管理費

$$= 8,000 \times 100 + 300,000 + 500,000 = 1,600,000$$

$$(5) \text{営業利益} = 2,400,000 - 1,600,000 = 800,000$$

(設問 2)直接原価計算方式により、以下の金額の計算式と答を示し、損益計算書を作成しなさい。

$$(1) \text{変動売上原価} = 8,000 \times 300 = 2,400,000$$

(2)変動製造マージン

$$= 6,400,000 - 2,400,000 = 4,000,000$$

$$(3) \text{変動販売費} = 8,000 \times 100 = 800,000$$

$$(4) \text{限界利益} = 4,000,000 - 800,000 = 3,200,000$$

(5)固定費合計

$$= 1,800,000 + 300,000 + 500,000 = 2,600,000$$

(6)営業利益

$$= 3,200,000 - 2,600,000 = 600,000$$

(設問 3)直接原価計算方式を前提に、以下の項目の計算式と答を示しなさい。ただし、単位当たり変動費、販売価格、固定費合計は不変であるとする。

(1)損益分岐点の販売量

$$= \frac{2,600,000}{800 - (300 + 100)} = \mathbf{6,500個}$$

(2)損益分岐点の販売高

$$= \frac{2,600,000}{1 - \frac{300 \times 8,000 + 100 \times 8,000}{6,400,000}} = \frac{2,600,000}{1 - 0.5}$$

= **5,200,000円**

(3)目標営業利益¥1,000,000 を達成する販売量

$$= \frac{2,600,000 + 1,000,000}{800 - (300 + 100)} = \frac{3,600,000}{400} = \mathbf{9,000個}$$

(4)目標営業利益¥800,000 を達成する売上高

$$= \frac{2,600,000 + 800,000}{1 - \frac{300 \times 8,000 + 100 \times 8,000}{800 \times 8,000}} = \frac{3,400,000}{1 - \frac{400}{800}} = \frac{3,400,000}{0.5}$$

= **6,800,000円**

(A)